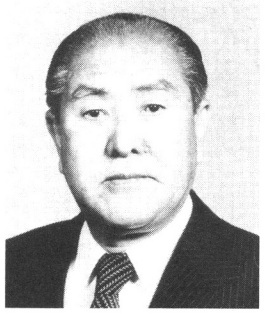
育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03（3256）1981
FAX 03（3256）1982
E-mail:mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



財団法人 漁船海難遺児育英会
理事長 鈴木善孝

平成十六年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は漁業協同組合等をはじめ、多くの皆様方から寄せられました漁船海難遺児育英事業に対する温かいご支援とご理解に衷心よりお礼を申し上げます。

昭和四十年、マリアナ諸島アグリガン海域において、台風による二〇〇余名の犠牲者が一日にして発生した海難事故を契機として、漁協系統を中心とした「漁船海難遺児を励ます運動」が全国的に広がり、その運動を推進するため水産界全体の総意として、本育英会は文部・農林大臣の認可を得て昭和四十五年十月に発足いたしました。爾来、漁業関係者や国民の多くの皆様方の深いご理解と温かいご支援に支えられ、基金造成に努めつつ、育英制度の改善及び給付水準の充実を図って参りました。当時、せめて給食費程度でもと小・中学生の遺児達を対象に給与から始まった育英事業も現在では幼児三歳から高校生等までの学資給与及び高校生等と大学生等の奨学金貸与の一貫した育英制度となっております。

しかしながら、教育費は依然として家庭経済を大きく圧迫しており、特に大学や専門学校などに進学すると自宅からの通学が不可能な学生がほとんどであり、さらに生活費を考えると、進学を断念せざるを得ない遺児が未だ多く見られます。長期にわたる低金利と不況の下で、安定的に育英事業を推進するためには、基金の造成をより一層図る必要を痛感しております。本育英会は機会あるごとに「水色の羽根募金運動」を通じて、広く国民の多くの皆様方にご理解を得られるよう努力して参りたいと考えております。また、平成十二年度を初年度として五ヵ年間の「第八期募金運動」を実施しており、今後とも、多くの皆様方の温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

幸い、労働災害事故に比べ海難事故は減少傾向にあります。また、漁業者の高齢化や子供の少子化に伴い海難遺児の数も減少してきておりますが、今年度におきましても既に二九名の奨学生を採用しなければならなかったことは残念でなりません。従来の海難事故防止に対する漁業者をはじめ関係者のご努力に敬意を表するとともに、一家の大黒柱である父親を失い、悲しい思いをする家庭がこれ以上増えないよう関係者の皆様方のお一層のご努力をお願いするものであります。

また、奨学生の皆様におかれましては、就学に困難を来たさないようにと、多くの方々から長年にわたりご支援をいただいていることを肝に銘じて勉学に励み、将来社会に役立つ人材として健やかに成長されますことを切に願うものであります。

最後に、新年を迎えて、皆様方の益々のご発展とご健勝と、併せて海難事故のない良き年となりますことを祈念し、年頭の挨拶といたします。

漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長 植村正治

新年明けましておめでとうございます。日頃より漁船海難遺児育英事業につきましては、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご承知の通り、昨年はWTOで大きく揺れた年でした。九月に開催されたWTO閣僚会議は決裂となりましたが、水産物交渉はこれで終わったわけではなく、今後も有限天然資源である水産物の持続的利用を柱とした「日本提案」の実現に向け、JFグループは一丸となり、努力していくこととしております。また、現在メキシコや韓国との間で行われている二国間自由貿易協定（FTA）の締結に向けた動きも非常に活発になってきており、これらの動向についても我が国水産業に対する影響を最小限に抑えるべく、全力を挙げて取り組んでいく所存です。この間、皆様には七月のWTO危機突破全国漁民緊急集会、八月のWTO日本提案実現全国漁民大会等にご参集頂き、ご協力を賜りましたことにつき紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、育英事業に関しましては、徐々に基金造成がされ、育英制度の改善及び給付水準の充実等を図っておりますが、奨学生の環境、特に教育費は依然として家庭の経済を大きく圧迫しており未だ十分とはいえません。

一方、漁船海難事故に関しましても年々減少しつつありますが、相変わらず漁船による海難事故は後を絶ちません。昨年十二月十五日に隠岐で発生した沖合底曳網漁船の海難事故は、約半数の方が亡くなられた大変痛ましい事故でした。ご遺族の方々に対しまして心からご冥福をお祈り申し上げます。

昨年六月から一人乗り漁船について救命胴衣着用が義務化されましたが、今後とも救命胴衣の着用運動を進めるとともに、安全指導の徹底を図るよう努める所存です。

どうか、安全操業に日々努められ、くれぐれも事故の無いよう十分にご注意して頂きますようお願い申し上げます。

賀正

全国漁協女性部連絡協議会
会長理事 北崎初恵

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様にはすがすがしく、新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

奨学生の皆さんは元気に勉学をはじめ、スポーツなどに励まれていることと思います。また、お子様の成長を暖かく見守っておられますご家族の皆様にとりまして、本年がご壮健で夢と希望に満ちあふれた一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

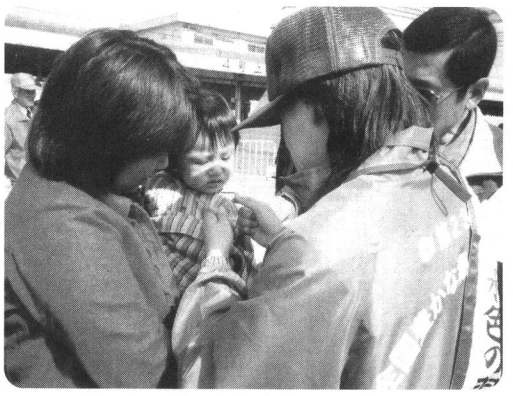
昨年は明るいニュースの少ない一年であったように感じております。漁業におきましても同様で、依然として厳しい状況が続いておりますが、私たち漁協女性部員は「浜のお母さん」として、地域の子どもたちが健やかに成長することを願って日々を過ごしながら、全国共通運動として、「漁村女性一人一月十円募金運動」への取り組みをおこない、育英制度を支える関係者の皆様とともに、この育英事業のお手伝いを継続実施出来ますことを喜ばしく思っております。

漁業は気象条件の厳しい海の上が仕事の場であることから、大変残念なことではありますが、痛ましい事故は後を絶ちません。私たち漁協女性部では、「何が出来るか」ではなく、「何をしなければならないか」といった観点で、一人乗り漁船について救命衣着用が義務づけられたことを機に、救命衣着用推進に努めております。漁業に携わっておられます皆様ひとり一人が、一層の海難事故未然防止に対するご注意を賜りますことをお願い申し上げます。

最後に、本年が事故のない年でありますよう祈念申し上げますとともに、育英会制度を支えておられます皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

再生紙使用

第23回全国豊かな海づくり大会
島根県浜田漁港



十月五日（日）、「手をつなぎ　つくる豊かな　うみ・みらい」をテーマに、『第二十三回全国豊かな海づくり大会』（豊かな海づくり大会推進委員会・島根県主催）が、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと島根県浜田漁港において盛大に執り行われました。

この大会は、水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識の高揚を図るとともに、水産業に対する認識を深めるための国民行事として、昭和五十六年から毎年実施されているもので、「共生の海（環境・資源・地域の調和）」を基本理念に据えた今年は、同じ海の恵みを受ける中国・韓国の漁業者代表を初めて招待し開催される大会となりました。

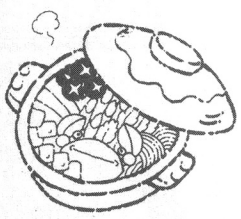
当日は、全国から約二五，〇〇〇人が集まる中、歓迎アトラクションとして特設ステージでは中国・韓国舞踊や石見神楽など各国の伝統芸能が、海上では浜田水産高校と隠岐水産高校の生徒によるカッター漕艇が披露され、大会を盛り上げました。また、物産広場では浜田周辺で獲れた新鮮な魚と、特産の農作物をふんだんに使用し、北前船を模した大鍋で作られる五，〇〇〇食分の鍋料理、「※BB大鍋」がふるまわれるなど地元の方々による様々なイベントが行われました。

募金活動においては、島根県浜田商業高校の皆さん（教員一名、生徒十九名）並びに島根県漁連職員の方々のご協力のもと朝早くから行われ、生徒さん達の明るい笑顔と声をからす程の熱心な呼び掛けに、会場を訪れた多くの皆様から温かいご支援を賜ることができました。

大会関係者をはじめ、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

なお、次回大会は、平成十六年十月三日に香川県サンポート高松にて開催されます。

※BBとは美しい海岸＝Beautiful Beachの頭文字でもあり、浜田の子供たちの魚の呼び名でもあります。



いわし料理の会

十月四日を「いわしの日」とした恒例行事『いわし料理の会』（㈳いわし食用化協会主催）が三日（金）、東京都中央区松坂屋銀座店七階お好み食堂において開催されました。

当日は相沢英之会長、会長夫人で女優の司葉子さん、田原文夫水産庁長官、中須勇雄大日本水産会会長をはじめとする水産関係者約一〇〇名が出席し、寿司・天ぷら・煮物・つみれ汁など様々ないわし料理に下鼓を打ちながら、今や高級魚となったイワシの普及と豊漁を願いました。

また、会場内では同協会のご協力のもと本会職員による募金活動も行われ、出席された皆様から温かいご支援を賜ることができました。ここに深く感謝申し上げます。

アップルクラブ　バザー

十一月十五（土）・十六日（日）の二日間、「奉仕の箱アップルクラブ」（世話人代表・水川晴海、事務局・東京都北区上十条三―二十七―十　水川歯科内）主催による『海難遺児支援バザー』が今年も北区十条商店街の店舗にて開催されました。

このバザーのためにクラブの皆さんの呼び掛けで集められた商品は、アクセサリーなどの小物から、食器、玩具、バッグ、靴、布団と種類も豊富。中でも広い店内に山と積まれた衣類の周りには、一着でも多くお気に入りを見つけだそうと熱心に物色する買い物客が後をたたず、終始賑わいをみせました。

なお、同クラブでは日頃から様々な奉仕活動に取り組まれており、使用済み切手やプリペイドカード類、ベルマーク等の回収で得た収益金や会費等を本会はじめ多くの福祉団体へ寄付されています。

アップルクラブの皆様及びご支援くださいました多くの方々に心よりお礼申し上げます。

第十四回全国漁船保険推進のつどい

去る十一月十二日（水）、ホテル日航東京（港区・台場）において、『第十四回全国漁船保険推進のつどい』が開催されました。

本会では、漁船保険中央会の多大なるご協力のもと、会場入り口にて募金活動を行い、多くの皆様から暖かいご支援を賜ることができました。

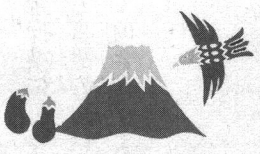
関係者の方々をはじめ、ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

第五十五回　全国漁港漁場大会

『第五十五回全国漁港漁場大会』が十月十六日（木）、佐賀市の佐賀県総合体育館で開催され、全国から漁港漁場関係者ら約二，七〇〇人が集まりました。

当日は、会場内外において、日頃から育英事業の窓口としてお世話になっている佐賀県有明海漁連並びに各団体職員の方々による募金活動が行われ、参加者の皆様から多大なるご支援を賜りました。

主催者の㈳全国漁港漁場協会はじめ、大会関係者のご協力に深く感謝申し上げます。



公　告

平成十五年度漁船海難遺児育英事業のうち、幼稚（保育）園・小学校・中学校・高等学校等に在学している奨学生を対象に実施する学資給与事業の一部助成として、日本財団から八二〇万円が交付されます。ここに公告し、衷心から感謝申し上げます。

基金造成中の本会にとって、この助成金は育英事業の推進上極めて大きな力となっております。このことを併せ公告し、同財団に厚くお礼申し上げる次第であります。

平成十五年十二月

㈶漁船海難遺児育英会
理事長　鈴木善幸

平成十五年度 第二回理事会・評議員会

去る十二月十日（水）、『平成十五年度第二回理事会及び評議員会』が東京都千代田区コープビルにおいて開催されました。

先ず、評議員会において、十二月二十日をもって任期（二年）満了となる理事一八名及び監事二名の選任が行われました。新たに理事に中須勇雄氏（㈳大日本水産会会長）、山﨑直昭氏（農林中央金庫常務理事）、角田元良氏（全国連合小学校長会会長）、小野具彦氏（全日本中学校長会会長）、小栗洋氏（全国高等学校長協会会長）の五名が就任されました。

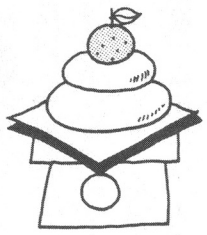
引き続き開催された理事会においては役員の互選が行われ、鈴木善幸理事長、植村正治副理事長、小川宏一専務理事が選任されました。また、辞任に伴い新たに菊地和則氏（全国都道府県教育委員会連合会事務局長）、白石裕一氏（全国連合小学校長会事務局長）、奈良章氏（全日本海員組合水産部副部長補）、西川徳市氏（静岡県漁業協同組合連合会代表理事会長）、利穂博氏（徳島県漁業協同組合連合会代表理事会長）、森勘一氏（福岡県漁業協同組合連合会代表理事会長）、宮﨑孝俊氏（佐賀県玄海漁業協同組合連合会代表理事会長）、西銘仁正氏（沖縄県漁業協同組合連合会代表理事会長）の八名が評議員に選任されました。

平成十五年度第二回理事会及び評議員会をもって退任された理事及び評議員の皆様に改めて深く感謝の意を表します。

平成十五年度 第三回選考委員会

去る十月三十日（木）、『平成十五年度第三回選考委員会』が開催され、「第三回奨学生出願者（十月十五日締切り）の選考」について審議されました。この結果、幼稚園・小中高等学校在学の学資給与奨学生八名の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた十二月末日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。



保護者からのお便り

＊今、息子は就職活動に入ってます。また、学校とバイトも頑張ってます。

（北海道　本田礼子）

＊お世話になっています。娘も仙台で寮生活をしながら勉学に励んでいます。ありがとうございます。

（岩手県　野里ゆみ子）

＊いつもいつもありがとうございます。息子も今年卒業です。毎日残りの学校生活を楽しんでいます。

（宮城県　渡邉房子）

＊奨学金の送金ありがとうございます。手術をしたため、今働けません。大変たすかっています。子供三人と私と頑張って行こうと思います。前向きに前進です。

（静岡県　大橋美千代）

＊お世話になっております。就職はまだ決まっていませんが、息子は最後の高校生活を毎日楽しくがんばっております。

（熊本県　岡村つねこ）

＊息子は体育祭・文化祭等色々な行事に一生懸命頑張っています。バイク免許も取得し、世界も広がった様です。

（鹿児島県　上村えつ子）

＊送金有り難うございました。息子は、冬休みもレポート提出等で忙しいらしいです。アルバイトも頑張りたい様です。

（鹿児島県　坂江みほ子）

奨学生からのお便り

＊楽しい学校生活です。しっかり勉強しています。

（北海道　大一　川村智恵子）

＊お世話になっています。学部生としての残りを精一杯頑張りたいと思います。

（福岡県　大四　川口昌和）

＊送金ありがとうございます。三年間のサークル活動も終わり、いよいよ就職活動が始まりました。頑張ります。

（大分県　大三　濵田直人）

寄付者からのお便り

＊進学、就職の時期になります。遺児の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。きびしい時代ですが、めげずに家族と仲良くがんばって下さい。

（千葉県　福田昌佳）

励ましおじさん・おばさん『奨学資金ご寄付』のお礼

平成十四年十二月から平成十五年十一月までの間に、ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

◎**北海道**▽加藤茂子▽佐藤倶子▽本間雅彦◎**秋田県**▽山岸剛◎**茨城県**▽大串信昌▽大島登▽佐藤登子美▽水谷宏▽菱幸運輸㈱水戸営業所所長吉村明朗◎**群馬県**▽臼井貞夫◎**埼玉県**▽稲垣友三郎▽小野彌▽金木愛子▽神山幸士▽小林哲朗▽東正光▽松本安裕▽村田奇一▽森安良▽吉田智▽弓削志郎◎**千葉県**▽市村隆紀▽岩﨑昌子▽海野洋▽枝窪義明▽大西絹子▽大類裕久▽岡村豊▽沖祝子▽越智豊子▽釜田朝▽川口恭一▽斎藤信夫▽坂口はつ子▽桜井郁夫▽新蔵敏彦▽杉浦正悟▽中前明▽福田昌佳▽平田淳一▽三浦満◎**東京都**▽赤保谷明正▽飯島孝夫▽五十嵐悦子▽石川渉▽尾﨑知子▽勝野輝美▽勝野ハナ子▽㈱洸洋代表取締役会長江刺冨美子▽㈱ＢＲＢ▽川合淳二▽岸田博▽岸野昭雄▽木下寛之▽工藤文子▽黒沼なをみ▽古田玉満▽後藤曉▽白井久子▽白須敏朗▽菅原昭▽鈴木和子▽須藤美智子・恵子▽髙木南海雄▽武信貞夫▽田原文夫▽徳岡慶子▽戸田滿弘▽長野章▽中村晃次▽根尾友久▽根本京子▽春田孝二郎・朝子▽平野文▽廣江志賀子▽廣重和夫▽福田濱子▽星野正一▽三橋宏次▽宮原邦之▽向井昌子▽本橋真道▽柳多鶴▽山本晶三▽渡辺千鶴子◎**神奈川県**▽浅倉寛▽岩﨑洋子▽川口毅▽木山清▽小杉山岳巳▽坂井淳▽佐藤正敏▽鈴木顯一▽田中潤兒▽千倉睦男▽中森正元▽中森光征▽西村肇▽三束治男▽浜喜水産㈱代表取締役太田昌三▽濱谷稔夫・小百合▽大和陸子◎**静岡県**▽山本劭◎**愛知県**▽大内輝夫・恵子▽佐藤仁▽野々山均◎**福井県**▽武田忠男◎**京都府**▽奥手初栄▽塩見英世◎**大阪府**▽大原正典▽春日井光行▽角丸英子▽丸谷耕一▽道本孝治◎**兵庫県**▽武田佳子▽仲尾さち子▽信原稔信▽古市正行◎**長崎県**▽寺島和子◎大分県▽中嶋一太◎**鹿児島県**▽福永政子

《お知らせ》

「励ましおじさん・おばさん」の皆様には、いつも心温まるご支援をいただきありがとうございます。

さて、『申し込み・奨学資金のご寄付』のお礼として毎号掲載しておりましたご芳名録につきまして、誠に勝手ながら、本号より掲載方法を変更させていただくことになりました。今後は、『奨学資

「育英会だより」の原稿をお待ちしています！

毎年４月発行号にて、新年度に際し、３月に卒業を迎える奨学生の方々を中心に作文をご紹介しております。今年も次号（平成16年４月１日発行予定、第111号）にて掲載させていただく奨学生の原稿を募集しておりますので、皆さんふるってご応募ください。掲載させていただいた方には記念品を贈呈させていただきます。

◎テ　ー　マ：自由です。最近の出来事やご家族との思い出などお好きなことを書いてください。イラスト、詩歌等でも構いません。
◎原稿枚数：400字詰原稿用紙１、２枚程度（ご連絡をいただければ原稿用紙をお送りします。）
◎提出期限：**平成16年３月15日（月）本会必着**
◎そ　の　他：作文を紹介するにあたり、奨学生のお写真を借用させていただきます。ご本人の顔がはっきりと写っているスナップ写真等ご用意の上、原稿と一緒にお送りください。（複数で写っている場合は、ご本人がどなたかわかるようメモ等をお付けください。部分的に切り取る必要はありません。）なお、お借りした写真はたより発行後、責任をもって返却いたします。

※奨学生以外の方々の原稿も随時受け付けております。

寄付（募金）のお願い

本会の育英資金は、多くの善意の方々から寄せられた寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金は未だ十分とはいえないため、多くの方のご協力をお願いしております。

〈送金方法〉
郵便局及び本会の指定する金融機関にお振込の際、本会の振込用紙をご利用いただければ、振込手数料は免除になります。ご連絡くだされればお送りいたします。

〈郵便振替口座〉
口座番号：00150－7－131175
口座名義：財団法人　漁船海難遺児育英会

また、高校・大学等奨学生に貸与する奨学金をある期間、定期的にご支援いただく「励ましおじさん・おばさん」のご加入も随時受け付けております。ご希望の方はお問い合わせください。

募金箱設置団体募集

平成13年度、漁船海難遺児を励ます全国協議会のご協力により、間伐材を使用して作成された「海に優しい募金箱」（縦16cm×横20cm×幅９cm）を設置していただける団体を募集しております。ご希望の団体はお問い合わせください。なお、この受け付けにつきましては募金箱がなくなりしだい終了させていただきます。

［お問い合わせ先］
〒101－0047　東京都内神田２－２－５　光正ビル６階
財団法人　漁船海難遺児育英会
ＴＥＬ：03-3256-1981（９～17時受付）
ＦＡＸ：03-3256-1982（24時間受付）
E-mail：mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp

金のご寄付』のお礼とし、ご入金いただいた方々のご芳名を一年間分まとめて毎年一月号に掲載させていただきます。皆様には何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

育英基金『募金・ご寄付』のお礼

平成十五年九月から十一月までにご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、そのご芳志に厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

一、**漁協系統募金**（各都道府県の漁連、信漁連、指導連等で構成する「漁船海難遭児を励ます地方協議会（略称・地方協）」等で取り扱った分で、一般寄付を含みます。）

〔九月〕◎**三重県**▽落合明史▽奥野正孝▽澤村仙志―香典返し▽海の博物館館長石原義剛▽㈱御木本真珠島代表取締役社長松田昭一▽地方協◎**島根県**▽原田宏―香典返し◎**山口県**▽北村司▽緒方セツ子▽岩国市漁業協同組合女性部▽山口ながと漁業協同組合波瀬支所組合員▽地方協◎**長崎県**▽中山良夫▽山田ミサエ▽みなと祭り実行委員会◎**大分県**▽北野幸一▽ナツメロ・演歌劇場まさ▽大分県漁協青年部上入津支部▽水産関係親睦ゴルフコンペ▽九州・山口地区漁港大会募金▽漁協下入津支店―親睦ゴルフコンペ協賛金▽地方協◎**沖縄県**▽地方協

〔十月〕◎**北海道**▽椎谷泰世―見舞い返し◎**青森県**▽ＡＭＬＳ協議会▽青森県漁業士会むつ支部会▽地方協◎**千葉県**▽吉野佑治▽井上民樹▽銚子市産業まつり実行委員会▽海の日感謝祭実行委員会▽農林水産部水産局水産課▽地方協◎**京都府**▽海洋高等学校生徒会―学校祭チャリティーバザー収益金・募金◎**島根県**▽米田政義―香典返し▽地方協◎**香川県**▽市川栄市―香典返し◎**福岡県**▽黒木正弘◎**佐賀県**▽第五十五回全国漁港漁場大会会場募金◎**長崎県**▽久松絹子▽中山良夫▽島本直◎**熊本県**▽地方協

〔十一月〕◎**北海道**▽佐久間猛―香典返し▽吉田正一・正憲―祝い返し▽第十四回やくも大漁秋味まつりチャリティー募金◎**青森県**▽漁業信用基金協会◎**宮城県**▽地方協◎**福井県**▽天森伸一◎**静岡県**▽地方協◎**三重県**▽長井國弘―香典返し▽柴原重登―香典返し▽神前漁協婦人部▽地方協◎**京都府**▽嶋崎長夫―香典返し◎**島根県**▽藤井多津江―受賞記念▽◎**愛媛県**▽㈱ヨンキュウ代表取締役社長笠岡繁樹◎**福岡県**▽福岡魚食普及推進協議会◎**長崎県**▽川端勲―香典返し▽松永秀則▽中山良夫▽㈲徳丸▽㈱アド長崎

二、一般寄付

〔九月〕◎**青森県**▽大山チセ（八戸市）◎**宮城県**▽石巻歌謡アカデミー会主武田つとお（石巻市）◎**埼玉県**▽小野沢通（さいたま市緑区）▽冨元克昌（越谷市）◎**千葉県**▽飯村久子（野田市）◎**東京都**▽全国漁船保険推進のつどい募金（港区）▽潮侍茶屋企業組合理事長増井昭―築地報徳会経由（中央区）▽築地商業協同組合―築地報徳会経由（同）▽㈱ノジ喜代代表取締役社長山崎勝―築地報徳会経由（同）▽もぐら会―築地報徳会（同）▽樋田徹也（大田区）▽梶浦富子（杉並区）▽奉仕の箱アップルクラブ―バザー収益金（北区）▽明大中野八王子中学校・高等学校生徒会福祉委員会―文化祭募金（八王子市）▽会八戸支部（八戸市）◎**宮城県**▽等学校生徒会福祉委員会―校内募金（八王子市）◎**静岡県**▽北川温泉観光協会会長田村栄一（加茂郡東伊豆町）◎**京都府**▽中上清吾（与謝郡加悦町）◎**岡山県**▽吉田厚子（笠岡市）◎**広島県**▽笹野理絵子（因島市）◎**鹿児島県**▽冨元明（鹿児島市）

〔十一月〕◎**山形県**▽善寶寺龍王講（鶴岡市）◎**埼玉県**▽大宮市場祭り実行委員会（さいたま市北区）▽小野沢通（同緑区）▽冨元克昌（越谷市）◎**千葉県**▽飯村久子（野田市）◎**東京都**▽全国漁船保険推進のつどい募金（港区）▽潮侍茶屋企業組合理事長増井昭―築地報徳会経由（中央区）▽築地商業協同組合―築地報徳会経由（同）▽㈱ノジ喜代代表取締役社長山崎勝―築地報徳会経由（同）▽もぐら会―築地報徳会（同）▽樋田徹也（大田区）▽梶浦富子（杉並区）▽奉仕の箱アップルクラブ―バザー収益金（北区）▽明大中野八王子中学校・高等学校生徒会福祉委員会―文化祭募金（八王子市）▽榎本みつ枝（東大和市）◎**富山県**▽布目久幸（富山市）◎**大阪府**▽阪井光平（大阪市平野区）◎**兵庫県**▽五弓徹（伊丹市）◎**鳥取県**▽浜野茂夫（境港市）◎**岡山県**▽吉田厚子（笠岡市）◎**宮崎県**▽宮崎海洋高等学校一年学年会―文化祭リサイクルバザー収益金（宮崎市）◎**鹿児島県**▽冨元明（鹿児島市）▽串木野市船主組合（串木野市）

都道府県別奨学生数

（平成15年12月末日現在）

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生			合計	平成15年度第3回採用者						合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	高校生等	大学生等	小計		幼児	小学生	中学生	高校生等給与	高校生等貸与	大学生等	
北海道	6	30	17	29	82	6	8	14	96							
青森	2	4	5	8	19	2	3	5	24							
岩手	1	5	7	5	18	2	4	6	24							
宮城	2	8	7	13	30	2	6	8	38							
秋田			1		1		1	1	2							
山形		2	1		3		1	1	4							
福島	1	1	3	5	10				10							
茨城		1		2	3				3		1		2			3
千葉		5	1	3	9		1	1	10							
東京				2	2	2		2	4							
神奈川																
新潟				1	1				1							
富山																
石川		1	1	5	7				7							
静岡		3	1	4	8		1	1	9							
愛知			1	3	4				4							
福井				3	3				3							
三重		1		1	2		1	1	3							
京都			2	2	4				4							
大阪		3		1	4		1	1	5		2					2
兵庫	1	1	4	6	12	1	4	5	17							
和歌山		1	2	8	11				11							
鳥取		2	3	1	6		1	1	7		1	2				3
島根		6	6	2	14				14							
岡山	1				1		1	1	2							
広島							1	1	1							
山口	3	4	5	10	22	3	1	4	26							
徳島		2	3	1	6		2	2	8							
香川		2	1	1	4	1		1	5							
愛媛	2	5	4	1	12	1	1	2	14							
高知		5	5	7	17		1	1	18							
福岡		2	1	3	6		2	2	8							
福岡県有明海																
佐賀県玄海																
佐賀県有明海		1	1	1	3				3							
長崎		5	10	10	25	1	4	5	30							
大分	1	3	3	7	14		3	3	17							
熊本		3	2	3	8	1		1	9							
宮崎	2	3	7	5	17	3	2	5	22							
鹿児島	1	4	4	7	16	2	1	3	19							
沖縄	1	4	6	4	15		2	2	17							
合計	24	117	114	164	419	27	53	80	499		4	2	2			8

※高校生等には、養護児を含む。
※奨学金貸与奨学生には、入学一時金のみの奨学生を含む。
※平成15年度第３回採用者は内数である。